

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

## 産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成 27 年 2 月 2 日 (月)  
 現地視察後 全員協議会室  
 8 時 50 分 ～ 14 時 37 分

【委 員】 布施委員長、牛尾昭副委員長

串崎委員、飛野委員、笹田委員、西田委員、牛尾博美委員

【委員外】 足立 柳楽 小川 野藤 芦谷 佐々木 道下

【議長団】 原田 澁谷

【執行部】

(産業経済部) 中村産業経済部長、田村産業経済部次長 (兼産業政策課長)、竹中産業振興課長、  
 佐々本広島市場開拓室長、川神農林振興課長 (併農委事務局長)、吉田水産振興課長、  
 石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長、倉井産業企画係長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野都市建設部次長 (兼建設企画課長)、吉田建設整備課長、  
 宮下地籍調査室長、岡本維持管理課長、佐々木建築住宅課長、吉川災害復興室長、  
 藤井建設庶務係長

(金城支所) 吉永金城支所長 (兼金城支所建設課長)、芹原金城支所産業課長

(旭支所) 田村旭支所長、塚田旭支所建設課長 (兼旭支所産業課長)

(弥栄支所) 田中弥栄支所長、岡本弥栄支所産業課長 (兼弥栄支所建設課長)

(三隅支所) 横田三隅支所長、岡田三隅支所産業課長 (兼三隅支所建設課長)

(総務部) 前木総務部次長 (兼総務課長)

【事務局】 小川書記

### 議 題

#### 1. 執行部報告事項

- (1) 萩・石見空港の利用状況について (産業政策課)
- (2) 浜田市企業立地促進奨励金適用条件の改正について (産業政策課)
- (3) 旧後野小学校・旧佐野小学校への企業進出について (産業政策課)
- (4) パークゴルフ場を核にした金城・旭地区賑わい拠点整備事業について (産業政策課)
- (5) 雪害による施設災害の復旧の対策について (農林振興課)
- (6) いわみ中央農業協同組合の合併について (農林振興課)
- (7) 漁業別水揚について (水産振興課)
- (8) 浜田漁港高度衛生管理型荷捌所整備の今後の対応方針について (漁港活性化室)
- (9) 美又温泉国民保養センターについて (金城支所産業課)
- (10) かなぎウエスタンライディングパークについて (金城支所産業課)
- (11) 波佐小国温泉館について (金城支所産業課)
- (12) 市道路線等の現地視察について (維持管理課)
- (13) 浜田市景観計画 (案) のパブリックコメントの実施について (建設企画課)
- (14) その他
  - ① 浜田市公共施設等総合管理計画の策定について (総務課)

#### 2. その他

## 【議事の経過】

[ 8 時 50 分 開議（東分庁舎前駐車場） ]

布施委員長

おはようございます。

ただいま出席委員は7名で、全員出席ですので、直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、委員の皆様、本日の調査会の流れ等についてご説明いたします。

お配りした資料のレジメをご覧ください。

本日の調査会では、これから11時頃まで、議題1の(12)市道路線等の現地視察を、資料の後ろに付けております「現地視察行程表」のとおり行い、市役所に戻って、議会全員協議会室において調査会を再開し、レジメのとおり、現地視察を除く13件について報告・説明を受ける予定です。

以上ですが、委員の方から、何か質問等ありますか。(なし)

書記の方から何かありますか。(なし)

それでは、このまま現地へ向かいますので、よろしくをお願いします。

(4ヶ所現地視察)

[ 視察終了 10 時 40 分 ]

[ 帰庁後、10 時 58 分 再開 ]

### 1. 執行部報告事項

#### (1) 萩・石見空港の利用状況について

#### (2) 浜田市企業立地促進奨励金適用条件の改正について

#### (3) 旧後野小学校・旧佐野小学校への企業進出について

#### (4) パークゴルフ場を核にした金城・旭地区賑わい拠点整備事業について

布施委員長

おはようございます。現地視察が終了し、調査会を再開します。

(1)から(4)までを一括議題とします。産業政策課長。

産業政策課長

(以下、資料をもとに説明)

布施委員長

説明が終わりました。(1)について委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員

3月末の見込みが目標に達するには1万2000人くらいという話です。現在浜田市だけでどれくらいの人数なのでしょう。

産業政策課長

浜田市の利用者数としては正確な数字を持っていませんが、今までのアンケート結果や、利用者アンケート等を考えると、全体の6パーセントくらいとお聞きしています。

串崎委員

12万人という最初の目標の中、最初の段階で全体でやれやれという話ではなかなか厳しい状況ではないかと感じています。浜田市で何万人受ける、それに対してやるのだというような、きめ細かい目標がなければ誰の責任になるのかという話にもなってきます。

もし行かなければ税金で補填という話も聞いていますが、その点はどのように考えていらっしゃるか。

産業政策課長

萩・石見空港の利用促進については、浜田、益田、津和野、萩等、関係市町ありますが、協議会を作って利用促進に向けて取り組んでいるところ

です。具体的にどの自治体にこれだけのノルマ、といったことはありませんが、今は協議会組織の中で2便化が存続するように、一丸となってサポーター企業の登録や、自治体によっては送迎補助を出されている所もあります、そういった対策を講じながら利用拡大に努めている状況です。

串崎委員

それは分かりますが、このような状況になるということになれば、協議会の中で、あるいは浜田市からでも結構ですが、ある程度の目標を掲げてきめ細かい対応をされなければ。無理なら税金で払ってしまえという形では…。そのような気持ちで発表されて…。今年はいかないにしても来年度は目標に達する形が望ましいと思いますが。

産業政策課長

各自治体にどれだけの利用者数というノルマはありませんが、目標数に達しない場合には、それなりの負担を自治体が負うこととなります。

その意味で、関係市町はできるだけ負担が発生しないように取り組んでいます。今後も協議会を中心に目標達成に向けて努めたい。連携を密にしながら取り組んでいきたいと思えます。

布施委員長

その他ありますか。笹田委員。

笹田委員

予定よりもやはり足らなかったということで、先ほど串崎委員からもありましたが、来年度どのような状況を予測されているのか。

例えば存続できなくなるのか、12万人に足りないから。浜田市の負担見込み等が分かれば教えてください。

産業政策課長

見込みですが、26年度においては1万2000人あまり達しない状況です。昨年、26年度当初、2便化になったことのPR不足により春先の利用者数が伸びなかったことを反省点としています。それからNHK大河ドラマ「花燃ゆ」効果も近々出始めるのではという期待もあります。来年度については目標の12万人を上回るように、関係市町で努力したいと思えます。

それから今年、目標に達しないということに関する、浜田市を含む関係市町の責任ですが、航空会社が全てを負担することには当然ならないので、折半ということになっています。足りない部分は浜田市もいくらかの負担を全日空に納める流れになろうかと思えます。金額については現在のところ、924万円を浜田市負担額として納めます。これには過疎債を70パーセント充当します。残り30パーセントは県と市で折半ということになりますので、実際には924万円の15パーセント、138万6,000円が浜田市負担となります。

笹田委員

そうすると、来年度も2便化は間違いなくやっていただけるものと認識してよろしいでしょうか。

産業政策課長

26、27年度がテスト期間ですので、来年度は確実に2便でやっていただけますが、それ以後についてはテスト期間中の利用者数が重要になってきます。

笹田委員

分かりました。先ほど大河ドラマの話も出ましたが、いずれかの人が来られると思えますが、それありきでやると継続した時に困ると思うんです。大河ドラマ需要がなくなった時に、やはり達しないじゃないかということがないように、大河がある時に来てもらって、リピーターを増やすような取組みを是非とも来年度はやっていただいて。

継続ありきで考えて、翌年駄目だったじゃないかとなると、便がすぐ減るということも考えられますので、そういう所も力を入れてやっていただ

産業政策課長

きたいと思います。

おっしゃるとおりだと思います。2年間限定の2便化ということで、この間に手厚い補助もしながら何とか2便化に結び付けようとしていますが、一過性のものであってはならないと思っています。この2年間のうちに、しっかり魅力づくりをしていく必要があると思います。どんどん来ていただけるような魅力づくり、観光に力を入れていくことをしていかなければいけない。またアウト対策として単独補助をやっていますが、これが継続するようにサポーター企業の登録を増やすとか、近くにこれだけ便利な空港があるんだということをこの機会に認識してもらうことも大事だと思っています。

笹田委員

これが継続するように今後も努めていきたいと考えています。

萩方面に行かれる方が増えると思います。島根県東部には出雲大社絡みであれだけ人が来て、西部には来てもらえなかったという実例があったわけなので、今度は萩方面に行かれてまた石見空港から帰るとなると、浜田市にとっては何のメリットもないことになります。できれば萩に行った後にこちらに寄ってもらえる仕掛けも必要ではないか。空港にはパンフレットも入っていますが、あのままでは浜田には来ない気がします。

せっかく萩の方までは来ていただけるのですから、足を延ばしてもらう形も考えていただけたらと思います。出雲の件で同じ島根県内なのに失敗している例があるので、仕掛けをしていただきたいと思います。

産業政策課長

浜田、益田、萩、長門で4市長会を作り、広域での観光ルート化や魅力づくりに取り組んでいるわけですが、萩とも連携しながら、こちらへの誘客も意識してPRすることも必要だろうと思っています。今後も取り組んでまいりたいと思います。

布施委員長

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

石見空港の件ですが、3、4年前に一般質問をした際には、12万人の計画で、大田から萩までの人口を考えると2人に1人は乗ってもらわないと達成できないわけです。

今の所、行った方は「安く行けたから良い」ということですが、基本的な数字を稼ごうと思ったら、当時も言いましたが例えば鳥取県は県教委が一生懸命旗を振って、鳥取空港なり米子空港なりを使うために修学旅行でぜひ使ってくれとPRして、基本的な数字を稼いでいる。当時益田は、中学校が2校くらい修学旅行で使っていると聞いた。

基本的な数字を稼ぐためには、小中高校生に乗ってもらうことが大事だと思います。そういう努力がなく、やたら補助金を打てば乗ってくれるだろうということ。65歳以上は無料で行ける状況ですよね。悪いことはないけど、でも結果的に数字が伸びないというのは、打っている政策に問題があると思います。それに先ほど言ったように2人に1人乗らなければいけないというのは厳しいハードルですよね。そのためにどういう数字を積み上げていくかという努力が欠けている気がして。端から、コンテストに受かったは良いけど非常に高いハードルだったんだらうと今は思います。

話が戻りますが、学校関係とか修学旅行で乗ってもらわないと、今以上の数字を上乗せするのは難しいですよね。そういう努力というのが全然見えてなくて。僕も3、4年前に言いつばなしでその後何もしていないので、

私自身も責任があるのだけど。そういう努力って見えてこないですよ。教育部局のことになるんだろうけど、市を上げて税金を突っ込んでいるわけですから、全市的にどうやったら飛行機に乗る客を増やすかというのは、既存のものが必要だろうと思います。

ほぼ1年経過して、もう1年しかありません。その辺の対応は現状どうなっているんでしょうか。萩まで含めた現状です。関係市町のそういう意味での対策は現行どうなっていますか。

産業政策課長

今まではアウト対策。ビジネスであったり、観光であったり、教育関係で言えば修学旅行とか、そういった活動になろうかと思えます。そういった方に多く利用してもらうために、サポーター企業登録社については、登録企業に向けた補助制度を設けて利用促進を図っていますが、企業だけでなく今後は地域グループであったり、色んなサークル等組織も対象になるといったような見直しをすることで、利用促進に繋げようと動いています。

今まではビジネス主体に重きを置いた取組みでしたが、もっと幅広い組織においても利用できるようなことを考えて進めていこうと考えています。

布施委員長

広域での取組みについては。

産業政策課長

広域としては、協議会を中心とし取組みとしてやっているところです。

牛尾昭副委員長

実際、萩まで含めた関係市町で、自分の市町村の子どもたちを乗せようというような政策はどこにもないんですね。いまの答弁を聞くと。

産業政策課長

子どもに特化した取組みというのは特にやっておりませんが、協議会の補助の中には、何歳未満という、若い人でも利用された場合に補助がある制度を設けています。その利用に向けてPRしています。

牛尾昭副委員長

質問と答弁が噛み合わないんですが、12万人の目標があったら、どうやって12万人に到達できるかを考えた時に、修学旅行の基礎ベースの数字がもし乗れば結構大きいと思うんです。だから、サポーター企業云々といっただけでばら撒く以前に、既存の交通機関を使って、市外へ出られる方が必ずいらっしゃる、そういう人を飛行機という交通手段に導くような営業を最初にやっていって、その上に色んなばら撒きをしなければ12万いかないと思いますが、基本部分でそこそこ稼げる数字に営業しないで、ばら撒きだけで…。

僕は1回益田の対策室長に言ったことがあります。益田は修学旅行どうなっているんだと。そうしたら、その時に2つの学校が行っているということでした。4年くらい前です。ですからそれから増えていると思えます。浜田では公式に、できるだけ修学旅行は石見空港を使ってもらいますというような施策を打ち出しているかと言えば、そうではないわけでしょう。見えてこない、伝わってこない。そういう所まで裾野を広げていかないと、言ったように、2人に1人は飛行機に乗ってもらわないと12万人が達成しにくいような現状の中で、課長は色々言われるけど。行政の責任がどこまであるかは別にしても、到達できないと思うんです。到達できないような所へ向けて、すごい努力とお金を突っ込んで、もう1年経って、達成しなかったのが1便化に戻りますよと、誰も責任を取らない、税金は捨てた。そんなことにならないように、できる限りの努力をする必要があると思うんですけど、そういうものが何か抜けているような気がするんです。心配しているんですよ。だから、せっかく努力するのであれば、水を漏らさないよ

うな政策で努力すべきだと思います。そうしないと、何だかやる前から無駄に見えてきて、こんなことをやってもどうせ12万人いかないんじゃないかと、そういう予測があるんです。

くどいようだが、基本の数字を稼げるような所へ仕掛けていかないと。したからと言って乗ってもらえるかどうかは分からないけど、現状してないわけですから。そういう努力も併せてやらないと12万人いかないと思えます。端からいかないならこんな無駄な努力しなくて良いじゃないかと。それを使って行った人は得ですけど、結果的に1便になるなら意味はなかったことになるので、そうならないようにもう少し…僕の考えがおかしければおかしいと指摘して欲しいけど、もうちょっと目標に向かったプロセスが…甘すぎるような気がするんです。答弁は結構です。

産業経済部長

学生の修学旅行、もっともなご意見です。課長の答弁から十分に伝わっていないとことがあります。なかなか成果も上がらなくて非常に厳しい所ですが、修学旅行については昼便が155名定員、夜便が166名定員。ある程度、40人、2クラス80人までは可能かなということで、一応市内業者と話し合いもし、教育委員会に打診もさせていただいた経緯があります。

ただ、修学旅行については東京便1便であるということと、日程の問題があつたり、また各学校がもう翌年度の修学旅行の訪問先というのは、子どもさん方の意見によって決めておられるケースもあって、その点は非常に苦労しているのは事実です。実際に働きかけても、今年の秋に確実に行ってもらえるかという補償もなく、非常に苦しい面があるのもご承知おきいただきたいと思えます。

イン・アウトの対策それぞれやりましたが、表を見ていただくと分かるように、4～7月のスタートダッシュは非常に悪い数字でスタートしています。27年度は県にもかなり力を入れてもらっており、県職員なんかは、通常ですと松江に帰られたりしながら出雲空港等から出られたりするケースもあるのを、何とかこちらに残っている職員はできるだけ萩・石見空港から往復するようにという指示も出ていると伺っています。また、協議会では夫婦で100歳というキャンペーンも行っていますが、これは今まで飛行機に馴染みのなかった方に、いかに萩・石見空港から東京へ往復すると便利かということを知ってもらいたいためです。また、数年前に1回ほどアンケートをしたことがございますが、その際に、6パーセントの人が浜田から行っておられると回答されたとのことで、その数字が現在の実数と合うかどうか確認を取ってない所ですが、便については浜田ですと金城や旭の方は高速道路もありますし、広島空港や新幹線利用の方もたくさんいらっしゃいます。萩・石見空港の利用となりますと三隅、弥栄の方はかなり数字があるのではないかと思います。しかいうちの方は、高齢者夫婦手当、65歳未満ですか、アンケートによると数字は少ないんですが、こういった方々が東京に行っていただけの際にはぜひ使っていただき、今まで使っていない魅力を感じていただきたい。

また、サポーター企業については、どんどんビジネスでの利用もありますが、サポーター企業会員の会社が慰安旅行等で確実に乗れるということであれば、せっかくだからこの機会に東京へ、福利厚生を考えてみようかという企業もあります。そういったことも含めて、できる限りサポーター

企業、浜田には今200ございます、益田は600ぐらいの登録があるわけですが、まだこの数字を浜田で伸ばしていきたいということも考えています。

先ほど牛尾昭副委員長から、子どもに対してもっと、全然見えてこないというのも、子どもは痛切に感じているところです。ありとあらゆる老若男女問わず、ぜひ萩・石見空港で東京往復という魅力を、地元民にも伝えたい。

それと外から来るイン対策については、萩の「花燃ゆ」というのもありますが、決定的に浜田の魅力、認知度、食と石見神楽、そういったものを徹底的に高めていかないと。出雲や萩に来られた方が浜田に来られることに繋がらない。

産業経済部、観光振興や水産も含めて全力で取り組んでいかなければ、単に産業政策課の取組みだけでは、成就できないと思っています。

それと、最初に負担金の問題が出ましたが、これはある程度採算ラインが12万人ということでご説明申し上げますが、その半分は全日空さんが負われます。残り半分については地元の公共団体で何とか補填してもらえないかということで、そのまた半分は島根県がもたれます。そのまた半分、4分の1程度、益田市が7、8割もたれると思いますが、その残りを萩、浜田市、益田市、吉賀町、阿武町といった所で負担させていただきたいということで、協議しています。一応利用率やサポーター企業の按分もありますが、そういった負担金割合になっています。

牛尾昭副委員長

答弁いただいたので良いですが、部長ね、やはり4、5年前の平成23年か24年の一般質問の時に、今と同じような答弁をいただいているんですよ、修学旅行に関しては。「既に来年は決まっているから難しい」と。それから数年経過しているのに、また同じ答弁をいただいたので僕も辛い部分があるんですが。

圏域の関係市町村の中で、鳥取県は政策としてやっているんですよ。飛行機に乗せようということで。関係市町村の中ではそのように、政策としてやるという合意形成が必要だと思うんです。でないと難しいと思いますので、努力してもらわないと。

もう1つは、例えば三隅道路まで開通するのは29年の早い時期ですが、これが27年で終わったとしたら、せっかく三隅まで繋がると早くなるから浜田以東の方の利用が増える気がします、2年間しかないのもそれまでにどうやって数字を稼ぐか。僕らはなかなか言う一方で「言うだけなら何でも言える」と言われればそれまでなんだが、いま言ったようなことを1つ1つ抑えてもらって、1人でも多く乗せられるような具体的な目の前のターゲットがあるわけですから、ぜひ努力していただきたいと思います。

布施委員長  
西田委員

その他ありますか。西田委員。

いまのやりとりを伺って、部長の答弁にあったインの対策について私も申し上げたいことが1点あります。子どもたちの修学旅行の話がありましたが、体験修学旅行というのが今随分あちこちでされています。国の地方創生も含めて、次年度から色んな対策事業が出てくると思います。

その中で、1つは体験修学旅行でインの対策、もう1つは子ども体験交流プロジェクト。これは小学校5年生が全国地方で体験を3泊から1週間ぐらいで行うもので、例えば子ども体験交流の場合は受け入れ地域が国から指

定されています。島根県では浜田市と邑南町と隠岐の島。それを何とか活かして。益田市や大田市も一生懸命プロジェクト受け入れに向けて動いていますが、浜田市は既に受け入れ地域に指定されていますから、活かして何とか都市部、できれば関東方面の学校と繋がりを作って、子どもたちに1回でも良いから石見空港を使って浜田に入ってくださいと、しっかり力を注いでいただいて、パイプが繋がれば、そこから波及するものが出てくると思います。ぜひ活かして欲しいと思います。

産業政策課長

ありがとうございます。浜田市がそういった地域に指定されていることを活かしていかなければならないと思いますし、ツーリズム等も体制づくりを進めているところです。そういったものをフルに活かしながら、誘客を進めていけるよう情報発信もしていきたいと思います。

布施委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

布施委員長

ないようですので、(2)について、質問やご意見等ありますか。笹田委員。

笹田委員

この条件改正が今になった、2月中旬予定ということですが、これは先ほど説明があったE-frontさんのための条例改正という認識でよろしいですか。

産業政策課長

このタイミングになったのは、E-frontに合わせたものではありません。去年の決算委員会の中でも、既成改正を検討している旨は言っていましたように、色々準備はしてきておりましたが、手続き的に調整が色々必要だった関係でこの時期になりました。しかし一企業に特化して反映させるための改正ではありません。

布施委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

では、(3)について、質問やご意見ありますか。串崎委員。

串崎委員

前に説明があったかもしれませんが、これは大変良いことだと思っておりますが、E-frontは何故浜田市に来られることになったのか。

あと、事業内容が分かりにくかったんですが。旅行代理店といった話もされていましたが、そうなるこの浜田市にも旅行会社がありますが、その辺はどうなのでしょう。

産業政策課長

浜田市への進出を決めた理由ですが、これはIT事業者で県西部、とりわけ浜田にはIT企業が少ないのが理由の1つ、それから浜田市には県立大学あるいは浜田商業情報処理科があることから新卒採用が可能であること、広島・松江に近い立地条件の良さ。

今回この話をいただいたのが、浜田商業出身の佐々木部長さんからですが、この方が浜田出身者で浜田をよく理解されており、ぜひとも浜田に事務所を設けたいとおっしゃったと伺っています。

業務内容ですが、主にはWebサービスの開発あるいは保守が全般的業務ですが、初年度は旅行代理店の総合支援システムを開発保守したいと伺っています。それ以後については多用途にわたって、全体的なWeb保守開発に関わりたいということです。

串崎委員

大体分かりました。これを持ってきて今までの旅行代理店を潰すといったことになってはいけないので、その辺を充分理解していただきたいと思



っています。  
 布施委員長 笹田委員。  
 笹田委員 先ほどの続きですが、企業立地奨励金の適用には、この企業は当てはまるのでしょうか。  
 産業政策課長 今回の見直しにより、ソフト系IT産業の業種に入るかと思うので、E-frontについてはこの括りで交付対象になります。  
 布施委員長 牛尾昭副委員長。  
 牛尾昭副委員長 E-frontさんの場合は家賃助成が3年間と書いてあるんですが、これが該当すると見て良いのでしょうか。  
 産業政策課長 E-frontさんについては、ソフト系IT産業ということになるので、投下資本はありません。新規常時雇用ということで、県外企業だと3名以上の、雇用の所。雇用奨励金が1人あたり50万円ということで出される。それ以外にも家賃補助として家賃の50パーセント、IT系だと8年間。それ以外に、通信費の補助として通信回線使用料50パーセント補助の5年間、これが補助対象になろうかと思っています。  
 牛尾昭副委員長 途中撤退の場合はどうなるんですか、違約金等は。例えば2年くらいやったけどどうにもならないから撤退しますという場合はどうなるんですか。  
 産業政策課長 3名以上というのが雇用条件で、これは創業時に既に対象要件に達することになります。従って3年間は現状維持をしないと返還ということになります。  
 布施委員長 その辺をはっきり答えられますか。  
 産業政策課長 少し時間をください。  
 布施委員長 では後で、また資料を提示できる時に手を挙げてお願いします。  
 産業政策課長 はい。  
 布施委員長 その他ありますか。  
 (「なし」という声あり)  
 西田委員 ないようなので(4)について、質問やご意見等ありますか。西田委員。  
 中期財政計画にも出てないし、突然聞いた事業なのでちょっと思ったんですが、出てきた経緯について。それから、1つは高齢者の健康増進ということで地域の方々に使われて福祉の観点では良いと思いますし、もう1点の交流人口、広島方面の利用者数等が出ていますけど、それらの方々と交流で連れてこられる施策というかコーディネーター的役割の部分について。それと季節によっても利用時期等があると思うんですが、最後の説明では採算は何とか取れると説明されていましたが、指定管理者に対する指定管理料の考え方。以上についてお伺いします。  
 布施委員長 旭支所長。  
 旭支所長 最初に経緯についてご説明します。先ほど次長から話がありましたが、今回の提案は元々旭温泉組合からありました。10年以上前から公認グランドゴルフ場が欲しいと言っておられたので、合併時点の新市まちづくり計画の中に位置づけられた事業としてありました。最近旭温泉の利用客も非常に厳しく、21年に比べると宿泊者数で25パーセント、実数で5千人以上減っており危機感を持っていましたので、改めて温泉組合からもぜひ何らかの打開策をとるという提案がありました。この課題は、何も旭温泉に限ったことではなく、美又温泉も同様の状況だったこと、これまでも議会から

「旭温泉だ美又温泉だ、ではなく連携した推進をすべきだ。」というご指摘もいただいていたので、今回これを起爆剤として金城と旭が連携し、自治区事業としてやっていきたいということで、本庁を交えて協議の結果、我々は元々グランドゴルフとして提案したのですが、将来予測を見た時にそれよりパークゴルフの方が良いだろうと提案いただき、我々なりに調べた結果、非常に将来性があると判断して今回の提案になりました。

産業政策課長

指定管理の採算の話については、現在のところ利用者見込み数を1万人と考えています。東広島の福富が1万1千人あまりということで。福富は市内あるいは廿日市からも利用があるとのことですが、多くは地元だということです。仮に1万人の利用者を見込むと、利用収入も1千万円となります。施設管理や人件費等がありますが、それらについても福富の例によるとやはり1千万円となりますので、指定管理した場合でも利用料金制で行えば収支はほぼ同じでペイできるかと。ただ、1万人に達成するまで、あるいは芝が整うまでの期間、創業から3年ぐらい、軌道に乗るまでの期間は何らかの支援は必要になろうかと考えます。

コーディネートについては、もちろん市民の方に多く利用して欲しいという考えは持っています。浜田市の人口5万6千人として10パーセント来ていただく、しかも稼働日257日と考えた場合であれば、年間5600人となります。実際に福富等でお聞きすると、利用される方は多い方で週2、3回の方もあるようなので、市民全体というのは無理ですが、こうして高齢化も進んでいる現状を考えると可能ではないかと。また金城カントリーは現在2万5千人利用されているようですが、高齢化の関係でゴルフができない方も出てきます。そうするとパークゴルフへ移行されるのではないかと思います。実際に高齢のゴルフ会員を募るやり方もあろうかと思いますが、そうすると千人の会員を募ってそのうち30パーセントが年10回利用していただければ3千人となります。県外からは温泉との宿泊パック等での誘客を考えると、1万人ぐらいの利用が見込めるのではないかと考えています。

西田委員

金城・旭自治区の方が温泉組合の方も含めて連携して何とかしようという所からこういう計画が出たとのこと、連携はすごく良いことだと思います。何とか成功すれば良いなとは思いますが、採算の部分で、1人千円の費用で年間稼働日が200数十日、ということは1日に300数十人は稼働日に毎日来なければという計算ですよね。ですからかなり厳しいんじゃないかと予測しています。もっともっと、我々も含めて全体で知恵を出すことが大事かなと思います。

産業政策課長

一点補足させていただきますが、通常利用の方のみでは限られてくるので、来ていただくためには月例や通常コンペ等の大会を開いていくことが大事だろうと思っています。そういった大会を常時開くように計画をしながら、誘客に努めていくことを考えています。それによって何とか1万人の目標を達成したい、できるのではないかと見込んでいます。

飛野委員

私も体験したことない、高齢者に優しいようなスポーツで大変期待するんですが。先ほどの説明や西田委員の質疑で大分理解はしましたが2点だけ。

1点目、コース面積が2.5ヘクタール、開発面積が3.7ヘクタールとなっています。地図を見ても小ぢんまりした形でなく複雑化した形態になっています。パークゴルフというだけあってパーク、公園というものづくりも

一緒に考えておられるのか。ジョギングやウォーキングもと書いてあります。コース面積と開発面積の差の大きいところ、そして赤線で囲まれた所は保守管理をしていかなければいけない部分だろうということで、その面積差が非常に気になります。

あと1点、先ほどの採算の話で、民間企業に委託されると、ここまでのプランが出ているということは既にそれらしき方もおられたりする中で、採算が取れる見込みがあつての話ではないかと想像します。私の思いからいくと、「近隣パークゴルフ利用状況」の表をずっと見ていくと、例えば雲南市36ホール、その他は18ホールです。料金は雲南500円、他は約千円。そうしますと先ほどの説明で算定はされていますが、雲南市500円で36ホール、4400人。ということは、どんな採算になっているのかなということ考えた時に、雲南がこれで採算が取れているのであれば、広島の手千円で1万人というのは非常に良い決算をされているのではと想像します。36ホールと18ホールでは倍違います。この倍違う中で料金は半分、入込数も半分。その差の部分がどうしても想像しにくいんですが、それも越えて検討されているんですか。

産業政策課長

コース面積が2.5、全体が3.7という、1.2ヘクタールの差についてですが、この1.2の中には駐車場や管理棟近くの駐車場や、大きな大会を開く際の大きな駐車場や、進入路、それからこの中には抱月公園も含めての面積とご理解いただきたいと思います。

採算についてですが、雲南市のパークゴルフは36ホールありますが、利用料が500円。これは1ラウンド18ホール回つての話です。例えば36ホール全部回るということになれば2ラウンド回ることになるので、当然料金も倍の1000円、あるいは1.5倍になるのか、その辺はちょっと微妙ですがそうになっています。従って福富の場合は18ホールで千円、1ラウンド回つて千円。場合によっては1時間半で回れますので昼飯を挟んでメンバー換えて午後もやろうということになれば2ラウンドになろうかと思ひます。そうすると何らかの割高な料金になろうかと思ひます。

そういう料金設定の中で、福富の場合ですと利用者数1万1千人あまりですが、この利用者でほぼ収支がペイできる状況だと伺っています。

飛野委員

それは分かりますけど、私が懸念したのは要するに、18ホール36ホール、1ラウンド2ラウンドの話ではなく、芝生の管理というものです。ゴルフ場は芝生の管理が大変である。ただ面積の話ではなく芝生をずっと維持管理する、それが倍あるということは、維持管理費の大半はここにかかるのではということ懸念しました。

布施委員長

他に。笹田委員。

笹田委員

まず現在の浜田市外の競技人口数はどのくらいなのでしょう。

産業政策課長

島根県内は東部に雲南があるだけで県西部にはありません。高齢者の新たなスポーツには加えられましたが、今どれくらい利用者がおられるかは把握できておりません。

笹田委員

把握ができてもないのに市民の方10パーセント来いと言っても…夢のような話にしか聞こえなくて。そういった要望がもしあるのなら分かるんですが、僕も市民の人がやっている姿を見たことないです。そういう場に行ったことがないからかもしれないんですが。グランドゴルフは公園でやられて

いるのを何回も見ますが、いきなりパークゴルフ場作りましてと言って、市民の人に通じなければ人も来なくなりますし。何か逆のような気がして。競技人口が増えてどうしてもないと困るというんだったら市が整備するものだと思うんですが。それを観光や温泉に繋げるんだと言っても、なかなか地元の利用がなければ…1万人で夢のような話を聞かされたような気がして。

先ほど飛野委員さんが言われた、雲南市の4416人ですか、公認コースにも関わらずこれぐらいの人数しか来てない。逆にこっちの方を参考にすべきであって、人口の多い東広島市と比較しても比較にならないと思うんですよ実際。本当に続けていけるんだろうか、芝生の管理なんかでもものすごくお金かかりますし。年間の管理運営費だけでも相当な金額行くんじゃないかと思います。ゴルフをできなくなった人がパークゴルフに行くというのも聞いたことありませんし、市民に望まれている物でもないような物を…これからのスポーツで整備するんだと言っても理解が得られないんじゃないかと思うんですが、その辺についてもう一度お願いします。

産業政策課長

確かにこの地域においてはパークゴルフというのは、ゴルフ場もありませんし知名度はないというのが正直な実態だろうと思っています。ですが先ほどからお話していますように、ゴルフ人口は金城カントリークラブに2万5千人おりますが、利用されている方の高齢化がどんどん進んでいますし、70歳を超える方については次のスポーツとして色々考えられているということもあるようです。そういった方が次の新しいスポーツとしてパークゴルフを利用していただけるようになれば、あるいは高齢化率もどんどん進んでいますので、そういった方が家族の皆さんと一緒に過ごす時間、パークゴルフで過ごしてもらうことで健康保持に役立てていただければと考えています。

確かに今、皆さん馴染みはないですが新たな魅力あるスポーツとして、今後施設も整備してPRもしながら普及に努めていきたい。そうすることが新たな交流人口の拡大や温泉施設を利用していただく利用者に繋がっていくものと考えています。

雲南市のゴルフ場ですが、ここは確かに36ホール、私も行きましたが素晴らしいゴルフ場です。ただ、アクセスが悪いところが難点かと思っています。その関係で今のところ利用者は少ないですが、今後松江道の開通等もあって広島からのお客様も増えていくのではと考えています。

笹田委員

全然話にならないというか、会話にならないのであれですが。例えばグランドゴルフをやっている方に話を聞いて、パークゴルフをやる気があるのかとか、もしそういう施設ができたら来るのかとか、アンケートを取ってこういう形にしたということなら分かるんですが。グランドゴルフとパークゴルフは違うスポーツだとネットにも書いてありましたし。

例えばグランドゴルフ場がある所に似たような…グランドゴルフは旗みたいなのを立てて中の円に入ればOKというもので、パークゴルフはゴルフと同じく穴があって入れるようなスポーツだということですが、そういった箇所に穴を空けて似たような所に作って、試してみてからが良いんじゃないかと思うんですが。

実際に作って、グランドゴルフは公園で無料でできますしそちらの方が

楽しいからそちらをずっとやるんだという話になったらどうなんだと思いますし。

もう1つ懸念しているのが、あの場所は冬になったら雪が積もりますよね。ゴルフ場もクローズになることが多々あって。なかなか年間計画どおりに事が進まないこともあるのではないかと思うんですが。この計画を見ると非常に甘いなど。ド素人が見ても甘いと思うんですが、本当にこんなことができるのか。もう一度考え直された方が良いんじゃないかと、個人的には思います。

金城支所長

冒頭に旭支所長から、旭温泉組合のグランドゴルフ要望から出たとご説明をしましたので、少し補足させていただきます。

確かに金城の今福と波佐に現在公認グランドゴルフ場があります。約2つの施設合わせて1万人の方が、これはほとんど市民の方が利用されています。市民の方が、近くにお客さんが集える場が欲しいということで、旭に要望されたというお話を聞きました。

金城に2つあるじゃないかという話があり、旭温泉ということだったら美又もあるしきんたもあるし、温泉振興ということでちょっと検討してみようじゃないかというので始めたのが最終的にこれになったんですけど、もう少し経過について補足させていただきます。

グランドゴルフではなく、もっと他所にないような、地域の魅力に繋がるようなものはないだろうかというのが1点。それと、説明をしていますがコミュニティスポーツのような幅広い年代の市民に使用していただける可能性が高いものはないだろうかというのが2点目。それと、そもそも観光施設というところから出ていまして、作ったものが産業振興に繋がらなければまずいだろうということで検討してまいりました。特に産業振興については、パークゴルフは限りなくゴルフに近いということで、社交場としてここが利用できるようになるのではないかという思惑があります。雲南さんの所を私も調べさせていただいたんですが、いわゆるゴルフコンペというイメージではなく、市民の方が集ってレクリエーション活動をしておられるという状況が主です。私どもが考えたのが、ここでいわゆる普通のゴルフコンペのように、少し距離は短いですが高齢の方も女性の方もできますので、ここでコンペをして、地域の特産品を商品として出せるようなことができないか、あるいは、旅館パックの商品化ができないだろうかとか。そういうのを施設を使ってやるような仕掛けをぜひやってみようということで、グランドゴルフよりもパークの方がゴルフに近くて、なおゴルフをしているような感じのスポーツとありましたので、普通のゴルフコンペのような異色のコンペですとか、業態別のコンペをやってみるとかいう仕掛けをさせていただいて、先ほど田村次長が言ったように何とか1万人に近づけるようにメニューづくりをやっていきたいと考えています。

ご指摘のように、これをするには人材も必要ですし徹底したモニタリングというのは承知していますので、それについては市の中では未知のスポーツではありますが、未知の部分の魅力に変えるようにやっていきたいということで、この案が出たということを少し補足させていただきます。

笹田委員

ありがとうございます。それも理解した上で言わせていただいたんですが。コンペだろうが大会だろうが、協議人口がいなければ意味がないんで

すよ。僕が思うに。まず競技人口を増やすのが先ではないかと思うので、卵が先か鶏が先かという話になるかもしれませんが、市民の人が聞いて「パークゴルフとは何ぞや」ではなく、少なくともパークゴルフ知っているよぐらい。先ほどバスの中でも、パークゴルフとグランドゴルフの違いって何だろう、から始まるわけですよ我々も。そんな状況の中で施設ができるということ自体が不思議でならない。浜田市の競技人口がある程度、もう5千人くらい行っているんだと、場所がないから提供して、プラス観光資源としても繋げていくんだというなら話は分かるんですが。

焦っているようにしか見えないんですよね。もっともっと協議人口を増やすような手立てをして、では作りましょう、なら理解できる部分はあるんですが。何にもしない中で「じゃあ作ります」では、市民の人が「おう頑張れよ」とはならないんじゃないかと思うんです実際。そういう意味で言わせてもらったので、コンペしようが何をしようがそれは素晴らしいことだと思います、ノドグロを差し上げて良いかもしれませんが、今の状態なら参加人数が来ませんよ。市民の人がやってないんですから。私はそういう部分を危惧するので言わせていただきました。

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

皆さん大方言われたのですが。最初にこの話を聞いて、本当に荒唐無稽な計画だと思って。とても行政が出すような、正気の沙汰じゃないと思います。この計画で銀行がお金出しますか。基本的な考え方で。市民サービスのために税金を突っ込んでこういうものを作るというならそれでも良いですよ、それなら。こんな計画、もしも予算が出てきたらどうしようかなと心配までします。同僚委員が言いましたが、競技人口ゼロですよ。芝生が整うまで3年もかかると。2億8,400万円かかると。その中に土地代もあるんでしょうけど。できればパブリックコメントを、特に旭・金城の市民の方には、両自治区の地域活性化のためにこういうことを考えていますがこれで良いですかと問うて欲しいです。

瀬戸ヶ島についても色々申し上げましたが、瀬戸ヶ島よりももっと唐突でビックリします。こんなこと議論してくれと言われる方が辛くて意見の言いようがないです。

これで市中銀行が「ああ良い計画だからお金出しますよ」と言えるような計画ですか。市民サービスのために、健康増進のために、2億8,400万円かけてこういう施設を作りますと、指定管理料これだけかかりますと、そういう計画ならそれはそれで政策ですから分かりましたと言うけど。ちょっと酷くないですか。議会軽視どころの話ではなくて、こんな計画を出されて議論してくれと言われる方が辛いんです。議員生活28年の中でこんな出鱈目な計画に初めて遭遇しました。もっとね、そりゃ税金ですから倒れても皆さんの給料には跳ね返りませんよ、だがそれで良いかということを考えなければいけないと思うんですよ。こんな辛い話を出されてもコメントのしようがないです。従って予算が上がってきたら私は反対します。とんでもないです。

その他ありますか。牛尾博美委員。

今言いつくされたんですけども、前にも旭温泉と美又温泉のことを言って、その中に浜田の戦略が本当にあるのかということ去年や一昨年に言

布施委員長  
牛尾昭副委員長

布施委員長  
牛尾博美委員

ったんですが。まさに旭自治区と金城自治区の戦略として良い位置、温泉施設を活用してもらうための、ある部分ではコミュニティエリアを作ろうということでこの案が浮かんだということを知りましたが、やはり僕も…これは人を遊ばせる場なんですけど、大変に難しい。それと千円の価格設定というのも、例えば市内からでも市外からでも高速料金は必要だったり様々で、それならこれにどういう特色があるのかというのを付け加えないと、全く人が来ないんですよ。アプローチは長い、それに浜田市にパークゴルフ協会はないはずですよ、グランドゴルフはあるけど。新たにプレイヤーを開発していくというのは至難の業ですよ。そういう面ではちょっと戦略的にも…良いことかなとは思いますがターゲットとしては、僕もこれはちょっと唐突過ぎると思うし、市場調査を本当になさったのか、もう少しアプローチしてみる必要があると思います。そういう面でどうですか、市場調査をなさったかどうか。

産業政策課長

市場調査については具体的にはやっておりませんが、近隣のゴルフ場施設や経営状況等の調査をさせていただいて、今の試算をさせていただいています。

牛尾博美委員

スキー場でもゴルフ場でもどこでもそうですけど、ただパークゴルフをやるだけの施設というのはもう全然駄目なんです。非常に貧しい施設になります。そこでご飯を食べたり温泉に入ったり足湯に入ったり、もっと他のゲームがあったり散策できたりウォーキングできたり、様々なプラスアルファの要因がないと、その施設は他の施設と比べても全然人が来ないんですよ。それだけ色んな要望に応じていく義務というのがあるんです。そういう面でもうちょっとしっかり市場調査をして。やることは良いと思うんですが、なぜパークゴルフになるのか。僕はグランドゴルフ協会の会長から浜田に作って欲しいという要望は、もう5、6年前から聞いてるんですよ。浜田のグランドゴルフプレイヤーは結構いますが、皆、美都へ行ったり益田へ行ったり、オー克蘭ド行ったり、あちこちに行っています。浜田にも欲しいという希望はしっかりあるんですが、パークゴルフというのはいかなるものかと…慌ててやらずに、もうちょっとしっかり戦略として、もし良い物なら金城と旭と一緒にやるならもうちょっとしっかり調査して、人がやってみたい、先ほど言ったようにゴルフの人がパークゴルフをやる、これとは全く別な次元だと僕は思っているんですよ、僕もゴルフやるけども。だからその辺はもう少しやる人、あるいはこれからターゲットになるような高齢者の意見を聞いたりしながら、早急にこの計画を実施に向けてのではなく、やることはこれではなく、もっと他の選択肢も含めてしっかりと、採算に合うかどうか、そして安く遊べるかというのが大事な部分なので、そういうの考えながらも1回白紙にというか…やることは良いにしても何をやるかはもう1回考える必要があるような気がします。

それともう1つ。例えばパークゴルフをやって駐車場も適当、食事場所もない、トイレもちゃんとない、あるいは後でウォーキング場所を作るとかありますが、そういうのをやればやるほど人は来ないんですよ。一気にやってしまわないと。使う人というのはやはり施設の比較をするんですよ。あそこはちゃんとこういう物もあると言って人は行くんですけど、利便性があったり楽しかったり良い気分させるレクリエーションだったりするんだ

けど、他の施設がどんどんできてくると1年1年、計画ごとにやるというのは分かるんだけど、ある程度一気にやっつけてしまわないと人は満足しない。そういうことも色々調査しながら進めていってもらいたいと思いますが、いかがですか。

産業経済部長

いまのご意見、充分拝聴しました。これをやっていくにあたり、笹田委員や牛尾昭副委員長からもありましたように、結局今こちらで馴染みがないといったところで。旭温泉や美又温泉、色んな観光施設があります。交流人口の推進というのが主な目的です。現在、グランドゴルフ場については波佐と今福があります。そこの設備の充実もある意味ある程度やっつけていかないといけないと思っています。それと今度のパークゴルフ場については、やはり先進的な取組みと捉えられたと思いますが、これは昨年来ずつうちの職員も資料を見たり現地に行ったり実際にプレイしたりもして、今後きちんと交流人口も増やすんだったらこの近隣では、広島にパークゴルフの協会がございます。東日本に偏っているわけですが、今からするのであれば西日本的にはまだ未知の部分があるということで。牛尾博美委員が言われたように、とにかく一気にやっつけてしまうんだということも魅力アップに繋がるんじゃないかという思いもありました。

ただ、笹田委員が言われたように、馴染みがないじゃないかと。教育委員会でも連携しながら、実際に愛好者に努めていくとか、今からの軽スポーツ、これからの生涯のスポーツのあり方も考えていく高齢者に優しいスポーツのあり方も考えていかなければならないということですので、いま委員がおっしゃられたようなご意見も充分拝聴して、今後どのように進めていくか。旭、金城だけの問題ではなく、今後の高齢化社会に元気に暮らしていけるあり方というのを、教育委員会等を交えて充分考えていきたいと思っています。

牛尾博美委員

部長の答弁は分かりました。ただ1つは、しっかり調査したり人の動向、今後の推移、様々見てやらないと非常なリスクがありますよ。それだけは言えます。

布施委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

ないようですので、産業建設調査会まだまだ報告事項がたくさんございます。時間も経過してますので午前中の部を置いて暫時休憩に入りたいと思います。産業政策課長、先ほどの報告ですか。産業政策課長。

産業政策課長

先ほどの企業立地の関係で、途中撤退した場合はどうかというところですが、奨励金の取り消し事項があり、創業開始後10年以内に事業休止または廃止した場合は、補助金の返還となります。額は全額、もしくは一部となります。

布施委員長

では暫時休憩に入ります。再開は1時25分からとします。

[ 12時 40分 休憩 ]

[ 13時 23分 再開 ]

**(5) 雪害による施設災害の復旧の対策について**

**(6) いわみ中央農業協同組合の合併について**



布施委員長 休憩前に引き続き産業建設調査会を再開します。  
 続いて(5)と(6)について、一括議題とし執行部からの説明をお願いします。  
 農林振興課長。

農林振興課長 (以下、資料をもとに説明)  
 布施委員長 説明が終わりました。(5)について委員から質問はありますか。笹田委員。

笹田委員 聞き逃したかもしれないので教えて欲しいんですが、26年度で復旧されるハウス9棟というのは、どこの場所になるのでしょうか。

農林振興課長 全体に金城が多かったわけですが、今回復旧されるのは全て金城町の施設です。

笹田委員 農家の方の意向を確認して、やらない所もあるとお聞きしていますが、今のところ空いている7棟全て、直さないという認識でよろしいですか。

農林振興課長 確認をしたのは、旭が3件ありますがここは規模的にも小さいし古いのでやらないとはっきり言われていますが、まだ最終的に今回の流用に対しては細かな説明をして、今回9棟ということになりました。

笹田委員 まだこれから手を挙げられる方がおられるかもしれませんので、各支所の産業課を通じて再確認をして取組みを進めていきたいと思えます。

笹田委員 27年度3棟は復旧されるということですが、これも金城になるのでしょうか。

農林振興課長 はい。これもまた金城町になります。

布施委員長 串崎委員  
 串崎委員 その他委員からありますか。串崎委員。

串崎委員 残り7棟の方はまだ手を挙げておられないとのことですが、一番懸念するのは、これによって農業をやめられる、農業衰退になることが心苦しいところです。これで農業をやめられるという方はいらっしゃるのでしょうか。

農林振興課長 施設を復旧しないという話はいただきましたが、具体的にはやめるから直さないということは言うておられません。ただ、高齢の方でもありますし、これを機会にということも充分考えられるかもしれません。

串崎委員 分かりましたが、これは自然災害という形になるのでかなり手厚い助成金を見ていらっしゃると思いますが、できる限りやめられない方向でお願いしたいと思えます。

布施委員長 その他ありますか。

(「なし」という声あり)  
 ないようなので(6)について、委員からご質問ご意見等ありますか。

(「なし」という声あり)  
 ないようですので次の議題に移ります。

### (7) 漁業別水揚について

布施委員長 この件について、説明をお願いします。水産振興課長。

水産振興課長 (以下、資料をもとに説明)

布施委員長 説明が終わりました。委員から質問はありますか。串崎委員。

串崎委員 分析を聞いてみたいんですが、2ページ目、1月から12月の累計で。これを見ると単純に5、6番目がかなり倍率高い形で去年の52億が今年56億にっただろうと予測しています。これについて来年度もこういう形になるん

でしょうか。

水産振興課長

水揚げ量アップということで、水産振興課を始め様々な取組みをやっていきます。この後市場の話も出てきますが、陸上側の施設整備から販路開拓等単価アップの取組み等々を行うことによって、今年度以上の水揚げができるように市としても取り組んでいきたい。来年必ずこの水揚げが確保できるかというのは、非常に自然環境に影響されるところですので、ちょっと明言はできませんが、取り組んでいきたいと思います。

串崎委員

水物ですのでなかなか難しいかと思われませんが、この分析表によればここを落とせば来年は駄目だというのは確実に分かっている感じがするのでお願いしたいと思います。

あとずっと見てみますと、10、11番が40、50パーセント台という形になっていますが、これもたまたまのことですか。

水産振興課長

10番は小型定置網です。11番はシイラ網というところですが、定置網については待ちの漁業ですので、そこに魚が回遊してこない。これも自然に影響されるものだと思っています。先ほど言った沖底船それから巻き網船については、漁場を探して獲りに行く手法を取っていますので、そちらに比べると待ちの漁業は自然が相手のところが大きいと思っています。

布施委員長

その他ありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので次の議題に移ります。

## (8) 浜田漁港高度衛生管理型荷捌所整備の今後の対応方針について

布施委員長

この件について議題とします。漁港活性化室長。

漁港活性化室長

( 以下、資料をもとに説明 )

布施委員長

説明が終わりました。委員から質問はありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

今年新年の初市でJFの岸会長がこのことに言及されたので、進むのだからという認識を持ちました。それと併せて、特三13港の中でいえば、この荷捌場の整備は標準装備なんですよね。下関の次は浜田と言われて久しいわけで、僕らにとっても久しい整備計画なんだろうと思っています。

これは確定した絵ではないと思いますが、最後に特三の市場として整備する以上は、今までないような空間を作る必要があるんだろうと思うんです。それが今度の計画の策定の中で、例えば意見聴取だとか地元要望も含めて色んな関係団体に意見聴取を受けながら精査されると思うんですが、これまでのような市場だけを作るという考え以外のプラスアルファが今後の全体事業の中で組み立てることが可能かどうかというのは、現時点で分かっているのでしょうか。

漁港活性化室長

ご指摘のように特三で最後に作られる荷捌場になります。当然ながら地元意見を反映し、費用や維持管理費のかからないものを作ってまいりたいと考えます。荷捌場としての機能ではなく、更に市場を見学していただくようなスペース等、地域の方にも活用していただけるような方法も考えていかねばいけないと考えています。

牛尾昭副委員長

事業主体が浜田市でなければ前に進まないだろうと思っています。歴史を遡ってみれば、市場そのものは当時の浜田市漁協へ無償譲渡した経緯があるので、本来はJFしまねがおやりになるべきかなと思っていますが、

しかし全国事例を見ると当該自治体がやっているケースも多いので。どちらにしてもこの事業、1日も早く前へ進むことが最善なんだろうと思っています。先ほど申し上げたような、今までの既存施設のようなものでなく賑わい施設、例えば荷捌場は1階しか使わないので、例えば函館のように2、3階も使ったような施設も、今後ぜひ絵を描く時には組み込んでいただいて。将来的には仲卸のこともあるので、そういうものが全体の中に上手く組み込めるような絵は無理なのかと思ったりします。ぜひその辺も入れて、13番目に作る所なので、今までできてない部分を全て網羅したような施設をぜひ、計画の段階で上げていただくようお願いしておきます。

布施委員長

その他委員からありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので次の議題に移ります。

### (9) 美又温泉国民保養センターについて

### (10) かなぎウエスタンライディングパークについて

### (11) 波佐小国温泉館について

布施委員長

(9)から(11)までを一括議題とします。金城支所産業課長。

金城産業課長

( 以下、資料をもとに説明 )

布施委員長

説明が終わりました。(9)について委員から質問はありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

課長の説明を聞いていて、今後の公的施設の検討組織の立ち上げなんです。毎回美又はどんなことがあっても残すべきだと申し上げているんですが、あそこへ、全体の良い雰囲気俯瞰しながらどういう絵を描くかといのは地元関係者や行政職員、識権者と書いてあるけど、そういう方々だけでは見通しが難しいのではと、大変申し訳ない言い方をするけどそう思うわけです。美又の湯を活かそうと思うとなかなか公的資金を投じて勝負できるのは、多分ラストチャンスじゃないかと勝手に思っているんですが。そういう意味から言えば、一定以上の実績を日本国内でお持ちの方に有料でも、単なるコンサルではなくここを見てもらうということが必要だと思います。そうしないと、せっかく公費を突っ込むにしても中途半端な物になってしまうんじゃないかという恐れがあります。

老婆心ながら申し上げるのは、全国で1、2と言われるような有名な温泉仕掛け人の方が何人かいらっしゃいますが、そういう人にぜひお金がかかっても頼んで、どういう物なら生き残れるかというご指導を仰いで。この温泉は大事にして欲しい施設なので、そういう方向付けが必要だと思います。10名以内ですから既にメンバーが決まっているんだと思うんですが、それについてはどういう議論をされたんでしょうか。

金城産業課長

この件については牛尾昭委員から一般質問もありまして。ただ、検討組織は組織として、組織の中でそういう指導をいただける方もゲストに来ていただいてお話をさせていただく機会を設けたいと考えています。

牛尾昭副委員長

最近だと大学のゼミに「とりあえず検討してください」と依頼する方法もあると思いますが、ここに関しては旧市内の方も地元の温泉館に浸かりに行くという方もいらっしゃる。「他はどうしても良いけどここだけは残してくれ」という声が旧市内でも圧倒的に多いので、万難を排して全体にと

って良い施設を、少々お金掛かっても良いから。パークゴルフ場なんかいいからここへお金を突っ込んで良い物を作っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

金城産業課長

貴重なご意見ありがとうございます。温泉会館についても老朽化というものがございますが、浜田市内あるいは江津市内からでも週1、2回来られる方もいらっしゃるの、今後検討を充分しっかり、専門家の意見も踏まえてやっていきたいと考えています。

金城支所長

ありがとうございます。資料の方に、方向性の年度を上期と明記させていただいておりますが、先ほどのご意見等を拝聴しながら、ここはじっくり多くの方の意見を聞きながら慎重に進めさせていただきたいと考えています。現場としてはできるだけ早くという思いを持ってここに上期と書いていますが、これについては年中くらいを見込んでやっていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。

布施委員長  
笹田委員

その他。笹田委員。

先ほど牛尾昭委員からもありましたが、美又温泉は2つありまして、250円で入れる所と保養センターと。言い方は悪いですが今回指定管理が逃げられたという印象が拭えない施設に、お客さんが帰ってくるというのはなかなか難しいんじゃないかと、すごい大変なことじゃないかと思っています。先ほど牛尾昭委員が言われたようにスペシャリスト等呼んで、ぜひPRもしていかないと。

どうしても黒いイメージというか、逃げられた施設に誰が行くんだということにもなりかねないと思いますので、その辺はしっかり再生させるんだという感じでやっていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

金城産業課長

笹田委員おっしゃるとおりで、イメージダウンが拭えないところです。今後1年間ではございますが、暫定的に日帰り温泉としてやっていくわけですが、やはり今までとは雰囲気を変えながらやっていきたいと思っていますし、当然今後については色んな人の意見を聞きながら方向性を出したいと考えています。

布施委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようなので(10)について、委員からご質問ご意見等ありますか。

( 「なし」という声あり )

では(11)について、委員からご質問ご意見等ありますか。笹田委員。

笹田委員

非常に残念なことだと思いながら新聞を読ませていただきました。隣にある蛍の里ですが、あそこは市の建物で地元指定管理を出しているということですが、この場所はどういうことになっているのでしょうか。

金城産業課長

隣接する小波の郷、市の方で整備させていただいたということでございまして、そこは地元NPOさんに委託して、シーズンによれば金・土・日になりますが産直等をやっておられて、今度は2月14日に漬物フェアというようなこともやっておられたり、独自の事業を展開されています。どうしても温泉の方も買い物をされたりして人数がどうなるか危惧していますが、それはそれとして市外から来ていただけるような品ぞろえ、品目等もやりながら、お客様を増やしていきたいと考えていますし、地元のNPOさんもそういう意向です。

笹田委員 継続して地元の方が頑張っておられる所なので、温泉が営業しないという  
ことになると今より更にお客さんが減っていくことも考えられると思  
います。その辺もしっかり協力してあげたらと思っています。お願いします。  
布施委員長 その他委員からありますか。  
( 「なし」という声あり )  
ないようですので次の議題に移ります。

## (12) 市道路線等の現地視察について

布施委員長 この件については午前中に現地視察が済んでいますので、次へまいりま  
す。

## (13) 浜田市景観計画(案)のパブリックコメントの実施について

布施委員長 この件について、執行部から説明をお願いします。建設企画課長。  
建設企画課長 ( 以下、資料をもとに説明 )  
布施委員長 説明が終わりました。委員から質問はありますか。牛尾昭副委員長。  
牛尾昭副委員長 良いことだと思います。かねてから気になっていたんですが、旭町の木  
田の佐々田家住宅みたいなものがあるじゃないですか。佐々田懋さんの顕  
彰会もできているけど、ああいうものこそ手を入れても残すべき施設だろ  
うと思います。  
なぜかというと、津和野の掘庭園だってガタがきていたけど相当手を入  
れて直して。日脚の大谷家も大分ガタがきてますから。僕は素人だから詳  
しくは知りませんが、佐々田家はまだ手を入れれば残せるような気がしま  
す。ああいったものを残す必要があるんだろうと思うけど入っていません。  
建設企画課長 主な所を挙げられていますが、佐々田家住宅が漏れた点について、もし  
コメントがあれば伺っておきたいと思います。  
11ページの一番上の方ですが「景観重要構造物の指定の方針」の所に、  
そういった要件を満たす所が表現されています。こういった中で今後色々  
意見を伺いながら考えていきたいと思っています。  
牛尾昭副委員長 ですから申し上げた私の意見は要するに、意見として挙げていけばとい  
うようなことで理解してよろしいのでしょうか。  
建設企画課長 意見としていただきたいと思います。重要構造物の指定という方針の中  
で、今から色々考えさせていただく中で、方向性を考えさせていただけた  
らと思っています。  
牛尾昭副委員長 課長が言われることにちょっと引かかるんですが。重要構造物という  
点で、例えば木田の笹田家が落ちたということではないんですね。  
建設企画課長 はい。  
牛尾昭副委員長 分かりましたありがとうございます。  
布施委員長 その他ありますか。  
( 「なし」という声あり )  
ないようですので次の議題に移ります。

## (14) その他

### ① 浜田市公共施設等総合管理計画の策定について

布施委員長                    その他です。産業建設所管外ですが、1点ご報告がありますのでお願いします。総務課長。  
 総務課長                        ( 以下、資料をもとに説明 )  
 布施委員長                    説明が終わりました。委員から質問はありますか。  
                                       ( 「なし」という声あり )  
 都市建設部長                    ないようですので、他に執行部の方から何かありますか。都市建設部長。  
                                       先週土曜の新聞に載っていましたが、ご存知の方も多いかと思います  
                                       が、ゆうひパーク浜田が、国土交通省が選定する全国35ヶ所の重点道の駅  
                                       に選定されています。これは昨年、国交省が募集しており、ゆうひパーク  
                                       浜田が応募していたものです。  
                                       重点道の駅になったことにより、国土交通省が管理しています現在のト  
                                       イレ、かなり老朽化していますが、この場所をちょっと変えて新しくす  
                                       るとか、そこに至る通路を整備したり、テラスを整備したり、あと中身につ  
                                       いては事業者サイドでリニューアルや、オリジナルレシピ等を検討され  
                                       ることになっています。以上報告しておきます。  
 布施委員長                    その他、報告事項はありますか。  
                                       ( 「ありません」という声あり )  
                                       では議題1を終わります。

## 2. その他

布施委員長                    議題2のその他についてございますか。牛尾昭副委員長。  
 牛尾昭副委員長                あさひ荘の湯が豊富にあるということで、有効活用方法の募集をされて  
                                       いるようですが、どうですか。  
 旭産業課長                    12月16日から2月末まで今募集しています。現在、7件ほど問い合わせが  
                                       来て、そのうち2件は現地視察をされています。最近では、東京のワーカ  
                                       ーズコーポレーションという会社、これは1月29、30日に現地を見られて、  
                                       旭の資源はどういうものがあるかを確認されて、今から計画書を作ると帰  
                                       っていきました。  
                                       あの方の方は電話で問い合わせ等がありましたが、スッポンの養殖を考  
                                       えてみたいとか、用地はどの程度あるとか、そういう問い合わせが来てい  
                                       ます。これは出されるかどうかちょっと分かりません。  
                                       このような感じで7件の問い合わせが来ています。  
 牛尾昭副委員長                7件のうち1件は現地施設をされたということですか。  
 旭産業課長                    7件のうち2件です。もう1件は社会福祉の関係で、現地を見られた。温  
                                       泉を使って、老人施設をとということですが、これも計画がどの程度出るか  
                                       は未定です。  
 布施委員長                    その他委員から。笹田委員。  
 笹田委員                        分かれば良いんですが、長浜西住宅の締切が多分1月30日で、応募が  
                                       あったと思いますが、どれぐらいの応募があったか分かれば。  
 建築住宅課長                    新たに応募された方は、応募数が50戸になりましたが、50戸に対して1  
                                       月末の期限で78の関係者が応募されています。各部屋ごとのタイプによ  
                                       って応募人数は変わりますが、わりと3DKや3LDK、2LDKといった広  
                                       めの住居タイプに応募者数が多くありました。2DKは16募集をかけたの  
                                       に対し、申込者数が15。シルバーが11戸に対して応募者数10。これは一度

抽選されてから、その場でもって更に再抽選の意向を確かめて、ひょっとしたら埋まるかもしれない状況です。

笹田委員

ありがとうございました。大きい部屋が人気だということで。先ほどの話の最後が気になったんですが、2DKが16戸空いていて15の募集があったということは、この方々はもう決まりという認識でよろしいですか。

建築住宅課長

応募者数で、資格審査を今からするんですが、資格審査上で該当したら決まっていくことになります。2DKとシルバーの方は募集戸数以内ですので、そういった形で決まっていくと思います。

笹田委員

最後の再抽選という話ですが、例えば大きい部屋に落ちた方が小さい部屋の余り1戸をめぐらしてもう1回抽選してくれないかという意味での再抽選という認識でよろしいですか。

建築住宅課長

はい、そういうことです。部屋は小さくなりますがそこでも良いという方をもう一度募り、再抽選する形になります。

布施委員長

その他ありますか。牛尾昭副委員長。

牛尾昭副委員長

いまの住宅の関連なんですが、希望しておられる方が、冗談で言われるんだろうけど「4階っていう番号良くないですよ」と、こっそり言われたんですよ。4というのは縁起が悪いということで、公営住宅ですから複数言われて。逆に言えば1、2、3、5でも良いんじゃないかと。結構真剣に言われるんですよ「どうせ住むなら死に階は嫌だ」と。そういう配慮というのはどうなるのかなと思って。

建築住宅課長

お答え難いですが、行政は特にそういったことは気にしてはいけないと思っておりまして、通常の部屋番号を割りつけています。

牛尾昭副委員長

分かりました。ただそういうことを高齢者の方は結構気にされるみたいなので。公営住宅であるがゆえに、そういう配慮が必要なんじゃないかと思ったりしますので、また検討してください。

あともう1件。ゆうひパークのことでちょっと伺うんですが。かねてから僕は申し上げていたんですが、建設省の分ですよ。トイレが一番便利の良い所にあるから、トイレだけ使ってすぐ帰られるという方がいらっしゃる。萩にしても大体トイレが奥の方にあるんですよ。今度どうせ新しく建てられるなら、施設を回遊できるような奥の方へトイレを作ってもらわないと。せっかく改修されるなら。お客さんを入口で逃してしまうので、その辺の提案を是非地元からしていただきたいと思うんですが、どのようになるんでしょうか。

都市建設部長

牛尾昭委員がおっしゃるとおりで。まさに今の計画は現在の場所より奥まった、職員駐車場の横になりまして、エントランス通路をしっかりと作って回遊していただけるように。ただトイレだけ利用するのではなく、ついでに回ってもらえるように。その横にドッグランもニーズが高まっていますので整備したり、そういったことも含めて検討しています。

布施委員長

飛野委員。

飛野委員

1点確認します。先日米が下がったとのことで、米農家に対してチラシが送られてきました。体質強化緊急対策事業です。これ、1月21日に発行されたもの、1月30日が締切ということで、申込希望があれば申込下さいということでした。その申込状況を教えてください。

布施委員長

農林振興課長。

農林振興課長

この件については、県の説明会が1月19日にありまして、市の職員等が帰って整理したところです。21、22、23日に届いた農業者の方もおられると思います。1週間ぐらいしかなくて大変ご迷惑をおかけしたと思っています。たまたま1月29日の農業新聞にこの記事があり「短い申請期間に農家困惑」とあります。政府が資金を早く届けようと補正予算で対応したことに一定の理解を示しながらも、最初の期日まで1週間足らずという短さに困惑していると。もう一方では、今回の事業が暫定的な予算措置であることに不満を見せる、という記載があります。

この事業は委員さんがおっしゃるように国の3月補正で総額200億円の事業です。今年26年産米が非常に下がったということで、米価の変動に対応できるように稲作農家の体質を変えようということで設けられた、生産コスト低減の取組みに対して出す補助金です。これについて大変ご心配をおかけしたと市の当局も思っています。

ご質問の件ですが、30日が締切で実際には農林振興課ではなく農林業支援センターの方で受付をしています。最終的に固まった数字ではありませんが、朝の外出時に確認したところ5件の申し込みがありました。これは法人なり集約農組織であって、一農家の方ではありません。国の方はどうももう1週間ぐらい延ばすようなので、もう2件ほど、これも集約農組織ですが2件ほど機械購入等について検討されているということです。最大7件ぐらいになるかと思いますが、ただ、申請書類の精査を行っていませんので、もしかしたら外れる分もあるかもしれませんが、今の段階では7件申請が出ています。

飛野委員

農家が困惑しているという説明がありました。実際問題、これを受け取った米農家の方々がびっくりして、これは良い制度でいくら貰えるのかなという期待を持たされたわけです。日もないしすぐに検討したところ、3つのメニューがあって、それに各々の条件が付いている中、ずっと辿っていくととてもじゃないけど、法人もしくは特殊な団体のみで各個人農家に該当するものでは一切ありません。非常に期待だけを与えられただけで、急がして、結果的にはそういうことしかない。浜田の中山間地においてこの条件に当てはまる状況を作ることはず不可能です。だから出ないんです。絶対に個人では無理だと思います。新聞紙上では「できます」と見出しがついています、しかし実際は違うというこの事実だけ。

私も何故これを発言したかという、米を作る人も作らない人も実際はいただけない事業だということを確認したくて発言しました。回答は結構です。

布施委員長

その他皆さんからありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので、以上で産業建設調査会を終了します。皆さんありがとうございました。

[ 14 時 37 分 閉議 ]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 布施 賢司 ㊞